

カビに関する Q&A

カビはどうして生えるのか？

通常、湿度(70%以上)・温度(20～30℃)・栄養(食べ物・有機物)が有るという条件がそろえばカビは生えてきます。

カビの生えやすい場所は？

室内においては風呂場・脱衣所・台所回りなど水を扱う場所や湿度のこもる所。
また温度差によって結露の発生し易い窓回りの様な場所。
また空気の動かない押し入れ、戸棚や靴箱の中やその裏の壁などです。

生活によく出てくるカビは何種類ほどあるか？

大体多くても 60 種類前後です。
特に黒カビ(アスペルギルス ニガー)、アオカビ(ペニシリウム)などは、放置されたパンやお餅などで良く見る事が出来ます。

カビはアレルギー症の人に影響を与えるか？

通常、VOC(揮発性有機化合物)などの化学物質や花粉症以外に、カビやダニ(ダニの糞)などもアレルギーの原因として良く語られます。
特にカビはダニのエサでもあり、カビの発生はダニも増殖にも繋がります。

カビが人に与える影響はあるか？

真菌症と呼び、肺から吸い込んだカビの胞子が、免疫力の落ちた老人や子供などの体内で増殖し、疾患を呼ぶ場合があります。
アスペルギルス症、カンジタ症、クリプトコッカス症などのカビの名前で呼ばれます。
また食べ物に生えたカビが体内に取り込まれた時に、カビ毒(アフラトキシン)を産生して人体に著しい影響(死に至る)を与える場合が有ります。

カビを生やさないためにはどうすれば良いか？

カビの生える3要素(温度・湿度・栄養)のどれかを抑えるようにする事です。

例えば温度を20℃以下に保つ為の温度調整をする。

湿度を70%以下に保つ為の乾燥や換気(空気の流れ)を室内に施す。

また微生物の栄養源になる有機物のたまり場所(塵やほこり・食べかす)を作らない事(清掃)が必要です。

それでもカビが生える場合にはどうすれば良いか？

しっかりとカビを殺菌・除去してから、防カビ(防かび剤)を施せばカビの発生を防ぐ事が出来ます。

カビを殺菌・除去する為にはどうしたらよいか？

市販の次亜塩素系殺菌・漂白剤(例えば当社製品カビサークル等)を噴霧して洗い流す事でカビを殺菌・除去する事が出来ます。

殺菌・除去するとカビは生えてこなくなるか？

いいえ、殺菌・除菌だけではカビ菌糸が下地に根を生やしており、再びカビが生えてきますので、防カビ処理が必要となります。

一般に販売されている防カビ剤はあるか？

あります。

当社製品のインナーミル 550(水性混入タイプ)などがこれに当たります。

水性塗料や壁紙の糊などに混入して良く攪拌して使用しますと、しっかりした防カビ処理が出来ます。

インナーミル 550 はカビ以外の微生物にも効果があるか？

あります。

インナーミル 550 はカビ以外にも細菌(バクテリア)や藻にも効果があります。

そのことから室内のみならず、外壁や屋根などの塗装(塗料)にも生かされています。また日常生活に良く出てくる60菌ほどの生活菌も全て抑える事が出来ます。